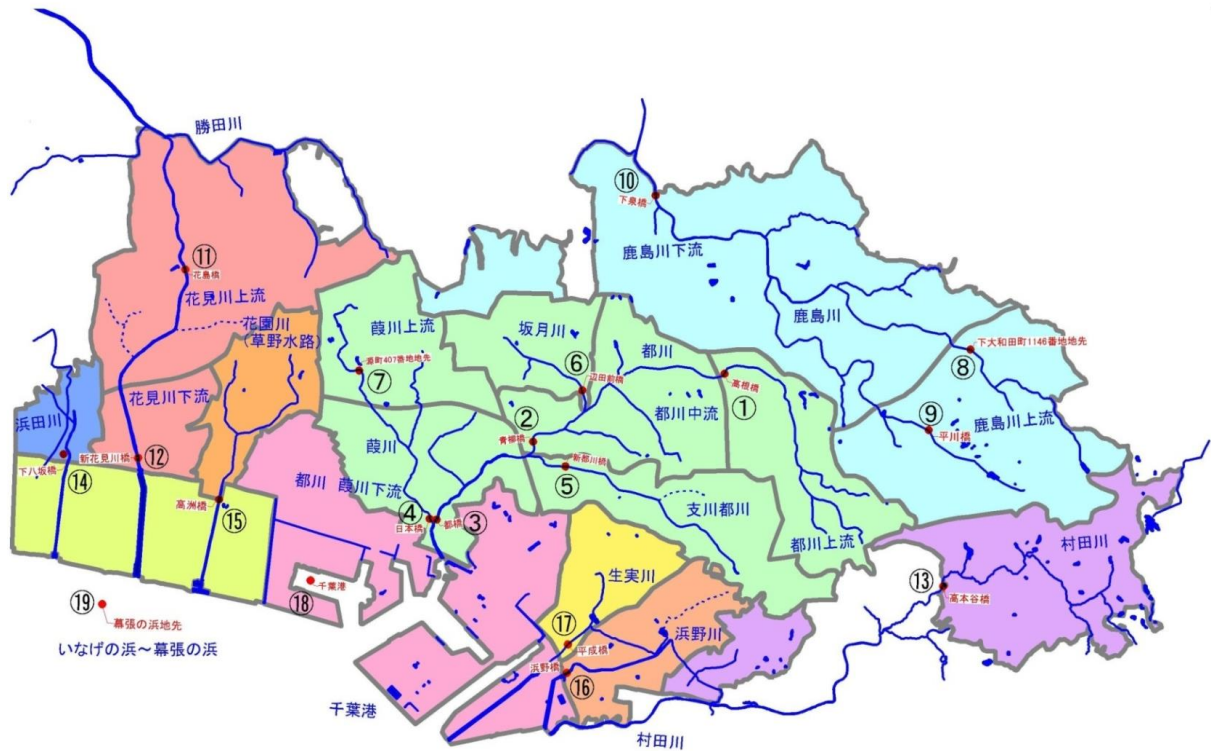


現計画の進捗状況

1. 評価地点

河川17地点、海域2地点の全19地点を評価地点として設定している。



No.	評価地点	No.	評価地点
①	都川上流（高根橋）	⑪	花見川上流（花島橋）・勝田川
②	都川中流（青柳橋）	⑫	花見川下流（新花見川橋）
③	都川下流（都橋）	⑬	村田川（高本谷橋）
④	葭川下流（日本橋）	⑭	浜田川（下八坂橋）
⑤	支川都川（新都川橋）	⑮	花園川（高洲橋）
⑥	坂月川（辺田前橋）	⑯	浜野川（浜野橋）
⑦	葭川上流（源町407番地地先）	⑰	生実川（平成橋）
⑧	鹿島川上流（下大和田町1146番地地先）	⑱	千葉港（千葉コンビナート湾内）No.5
⑨	鹿島川上流（平川橋）	⑲	いなげの浜～幕張の浜（幕張の浜地先）No.8
⑩	鹿島川下流（下泉橋）		

2. 各評価地点における目標の有無

No.	評価地点	基本方針1 水辺の生き物	基本方針2 親しみのもてる水辺	基本方針3 水量	基本方針4 水質
①	都川上流（高根橋）	○	○	○	○
②	都川中流（青柳橋）	○	○	○	○
③	都川下流（都橋）	○	○	—	○
④	葭川下流（日本橋）	○	○	—	○
⑤	支川都川（新都川橋）	○	○	○	○
⑥	坂月川（辺田前橋）	○	○	○	○
⑦	葭川上流（源町407番地地先）	○	○	○	○
⑧	鹿島川上流（下大和田町1146番地地先）	○	○	○	○
⑨	鹿島川上流（平川橋）	○	○	○	○
⑩	鹿島川下流（下泉橋）	○	○	○	○
⑪	花見川上流（花島橋）・勝田川	○	○	—	○
⑫	花見川下流（新花見川橋）	○	○	—	○
⑬	村田川（高本谷橋）	○	○	○	○
⑭	浜田川（下八坂橋）	○	○	—	○
⑮	花園川（高洲橋）	○	○	—	○
⑯	浜野川（浜野橋）	○	○	—	○
⑰	生実川（平成橋）	○	○	—	○
⑱	千葉港（千葉コンビナート湾内）No.5	○	○	—	○
⑲	いなげの浜～幕張の浜（幕張の浜地先）No.8	○	○	—	○

### 3. 評価結果（令和2年度末時点）

#### （1）基本方針1 いろいろな水辺の生き物の保全

河川については、全体的に目標を達成できていないが、生き物の種類によっては達成している河川もある。（「①保全したい種」として支川都川で目標となっている魚類や底生生物など）

また、海域についても、すべて目標を達成できていない。

なお、調査は河川及び海域の全19地点を概ね5年間かけて実施している。

#### 【河川】

17地点において、魚類、底生生物、植物について、「①守っていききたい種（保全したい種）」及び「②生息（生育）を目指す種（呼び戻したい種）」の目標がそれぞれ設定されており、全地点を総合した達成状況を下表に示す。

表 全ての河川における生き物の種類ごとの達成状況

		目標設定 河川数	達成状況※1 (前期:H23-H27)	達成状況※1, 2 (後期:H29-R2)	前期と後期 の変化
魚類	①	17	15	2	↘
	②	17	0	1	↗
底生生物	①	16	16	3	↘
	②	17	0	1	↗
植物	①	13	11	6	↘
	②	10	0	1	↗

※1 達成状況は、河川ごとに目標とする種が、期間内の調査で全て確認された河川の数

※2 葭川上流・下流、坂月川、花園川（草野水路）の結果は含まれていない。（R3実施）

「①保全したい種」については、前期よりも後期の方が目標を達成する河川数が少なくなるなど悪化傾向にあるが、「②呼び戻したい種」については、後期に河川数が微増するなど改善も見られている。

#### 【海域】

2地点において、魚類、底生生物について、目標とする生き物がそれぞれ設定されており、両地点において、目標を達成していない。

## (2) 基本方針2 親しみの持てる水辺

各河川や海域ごとに物理環境の目標が設定されており、全て目標を達成している。

### 【河川】

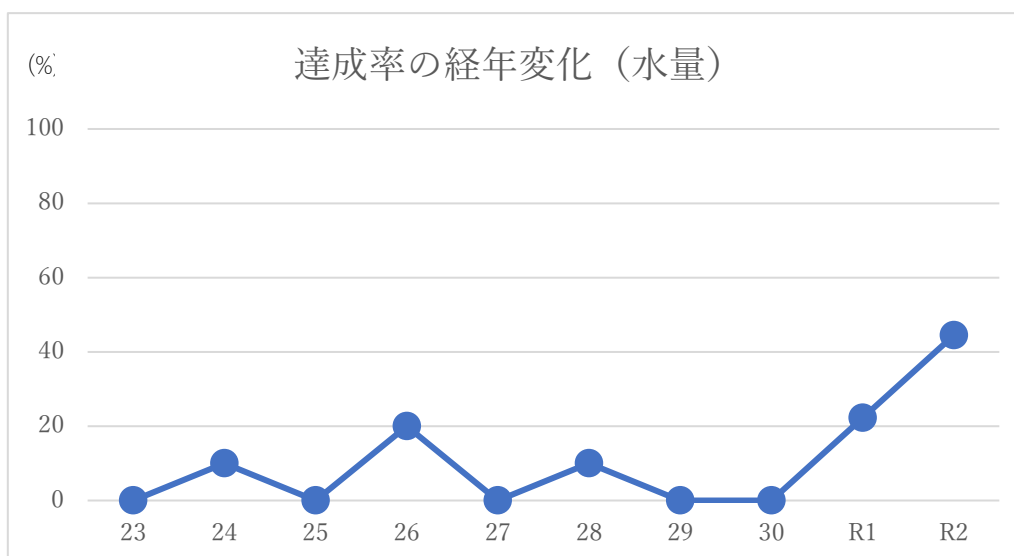
流速、水深、河床材料、河道、護岸構造などが目標に設定されており、都川上流・中流、坂月川や鹿島川などでは河道を「瀬と淵等、変化に富んでいる」ものとすることや「落差工による魚類等の生息環境の分断がない」状態になっているなど、環境に配慮した構造になっている。

### 【海域】

水際（なぎさ）や周辺地域の状況が設定されており、千葉港では、人が集う湊まちづくりをコンセプトに旅客船ターミナル機能を有する商業施設を整備するなど人々が賑わう空間づくりを行っています。また、いなげの浜～幕張の浜では、海辺活性化のための民間事業者による施設整備、東京湾や富士山等を展望できる駐車場整備、磯の松原の散策路整備を行っています。また、「海辺とまちが調和するアーバンビーチ」をコンセプトとした20～30年先を見据えた海辺の活性化の方向性を示す「海辺のランドデザイン（H28）」を策定するなど取組みを進めています。

## (3) 基本方針3 水量

目標が設定されている河川9地点のうち、4地点で目標を達成したが、経年の達成状況をもても、引き続き取組みが必要な状況である。

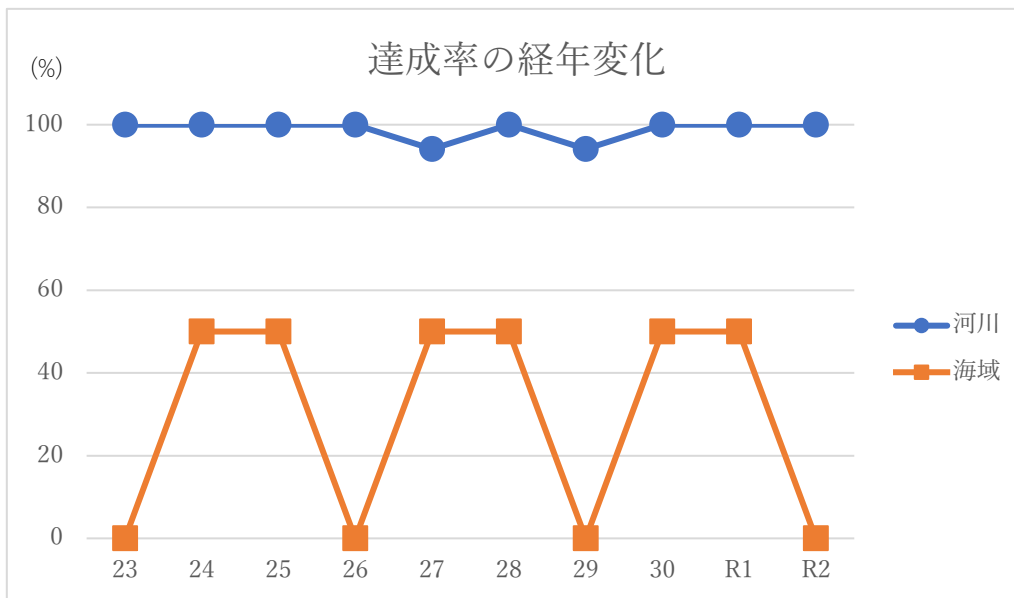


(4) 基本方針4 水質

①水中の有機物の量（河川はBOD（mg/L）、海域はCOD（mg/L）※1）

河川：17地点すべてで目標を達成している。

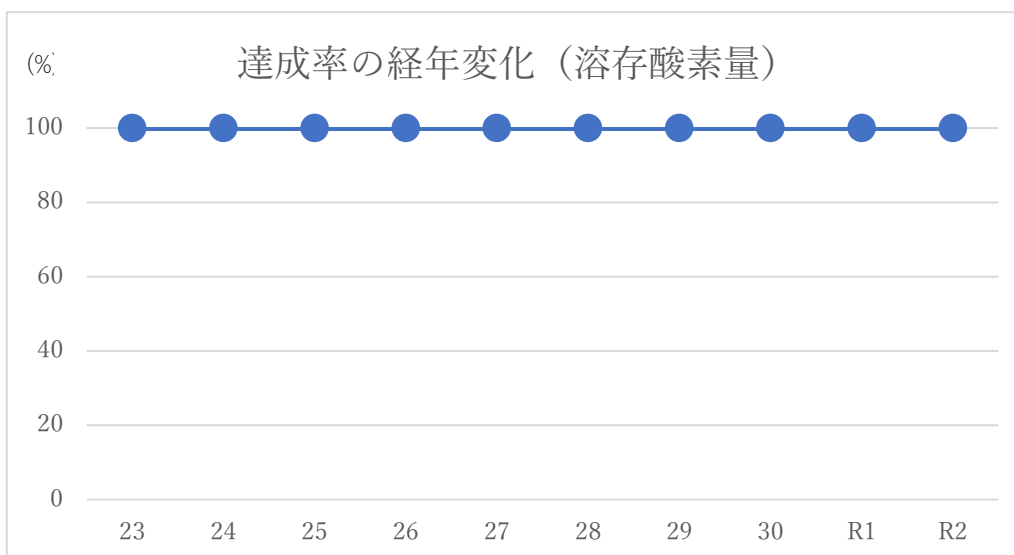
海域：2地点すべてで目標を達成していない。



※1 BOD：生物化学的酸素要求量、COD：化学的酸素要求量の略称

②水中の酸素量（溶存酸素量（mg/L））

河川（17地点）及び海域（2地点）すべてで目標を達成している。



③海域の全窒素、全りん、全亜鉛 (mg/L)

全窒素、全りんについては、2地点のうち、1地点で目標を達成しておらず、全亜鉛については、2地点すべてで目標を達成している。

